

科目名		建築史			
担当教員		熊谷 貴子		実務授業の有無	有
対象学科		建築大工科	対象学年	1	開講時期
必修・選択		必修	授業形式	講義	時間数
授業概要、目的、授業の進め方		西洋建築の様式変遷とその特徴・代表的な建築物・建築家を学ぶ ・教科書の用語・説明のチェック ・まとめ板書 ・映像資料+感想レポート 学習範囲の知識定着を確認する ・評価テスト			
学習目標（到達目標）		2級建築士試験の<計画>に対応できる知識を習得する			
テキスト・教材・参考図書・その他資料		○図説 建築の歴史（学芸出版社） ○映像資料 各自で準備 ●教科書をチェックする色ペン ●板書を記入するノート			
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	「建築史」を学ぶということ オリエントの建築			建築の歴史を学ぶ意義、身近な建築とその建築家を学ぶ 古代オリエントの代表的建築物を学ぶ	
2	ギリシア建築			ギリシア建築の特徴と代表的建築物を学ぶ	
3	ローマ建築 初期キリスト教建築・ビザンツ建築			ローマ建築の特徴と代表的建築物を学ぶ キリスト教建築のはじまり・東ローマの代表的建築を学ぶ	
4	ロマネスク建築			ロマネスク建築の特徴と代表的建築物を学ぶ	
5	ゴシック建築 ルネサンス建築			ゴシック建築の特徴と代表的な建築物を学ぶ ルネサンス建築の特徴と代表的な建築物を学ぶ	
6	バロック建築・ロココ 新古典主義建築・歴史主義建築			バロック建築とロココの特徴と代表的な建築物を学ぶ 新古典主義・歴史主義の特徴と代表的な建築物を学ぶ	
7	産業革命と建築 近代造形運動			産業革命による技術革新とアーツ・アンド・クラフツ運動を学ぶ アールヌーボーと各地の近代造形運動を学ぶ	
8	モダニズム建築			近代建築三大巨匠のフランク・ロイド・ライト ミス・ファン・デル・ローエ ル・コルビュジエ を学ぶ	
					・適宜レポート課題を課します。レポートの評価は評価テストに含まれるものとします。
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
平常点	評価テスト	期末試験		世界の建築とその様式の変遷・建築家を学び、これからの新しい建築空間創造の基礎知識としましょう	
20 %	40 %	40 %	%		
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		建設会社にてインテリアコーディネーター・設計補助、職業訓練校にて外部講師・製			